

一般社団法人 三多摩腎疾患治療医会
会員各位

前略

皆様、いつも本会の活動に多大なご協力ご支援を賜り、まことに有難うございます。

さて9/1（火）の災害対策訓練においては、日常業務で大変忙しい中、訓練への積極的なご参加、まことに有難うございました。せっかく実施した訓練ですので、問題点など早めに総括しておくべきと考え、下記のご報告まで申し上げます。

草々

令和2年9月1日 三多摩腎疾患治療医会災害対策訓練 総括

I. Tokyo DIEMAS を利用した災害情報登録訓練（日本透析医会ネットワークへの連携入力）

地区	情報登録実施施設数/実施率%	(DIEMAS 登録施設数/DIEMAS 上に記載施設数: %)
西多摩	6/ 75%	(8/11: 72.7%)
南多摩	25/ 75.8%	(33/40: 82.5%)
北多摩西部	13/ 68.4%	(19/23: 82.6%)
北多摩南部	22/ 81.5%	(27/31: 87%)
北多摩北部	7/ 70%	(10/16: 62.5%)
三多摩合計	73/ 75.3%	(97/121: 80.2%)

日本透析医会への情報登録実施施設数 61 施設（うち DIEMAS での連携入力 24: 32.9%）

まとめ：上記のごとく、Tokyo Diemas の登録率はかなり高くなり、訓練の参加率も 75%と良好でしたが、問題点は、日本透析医会への連携入力の実施率が 3 割程度と不良でした。今回の結果に基づき、今後、連携入力方法に関して、Diemas 作成者の川崎さんによる Web での説明会など企画していきたいと考えています。

II. メーリングリストを利用した地区情報の共有訓練

地区	返信実施施設数/災害時メーリングリスト登録施設数：実施率%
西多摩	6/ 10: 60%
南多摩	16/ 37: 43.2%
北多摩西部	16/ 21: 76.2%
北多摩南部	12/ 26: 46.2%
北多摩北部	7/ 14: 50%
三多摩合計	57/ 108: 52.8%

まとめ：全般に参加率が不良でした。この原因として、最大の問題点が判明しました。メーリングリストに訓練参加者のメールアドレスが登録されていないと、メーリングリストへの返信ができなくなってしまうことです。例えば、施設の代表者のアドレスのみがメーリングリストに登録されていた場合、代表者が訓練に関与できないと、リストへの返信ができないこととなります。従って、今後、災害時のメーリングリストには、実際に災害時に対応する可能性のある、技士さん、看護師さんを含め、複数の登録を推進しようと考えております。また、メーリングリストがいったん出来上がってしまうと、ごく限られた管理者権限を持った者にしか、リストに含まれているメンバーを確認できず、修正すべき点が見過ごされがちだという問題点も指摘されました。今後はこれらの問題点に対応できるよう修正を図っていく予定です。今回、訓練を始める前に、各ブロック長から、災害時の対応者とその連絡アドレスの問合せを実施しましたが、なかなかご返信をいただけない状況がありました。今後、このリストは、災害以外でも地域連携の意味で極めて重要になってきますので、是非ともご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

Ⅲ. MCA 無線を使用した都区部との連携訓練&Web 会議 ※MCA 無線機設置 18 施設のみ

三多摩内での連絡に関しては、これまで通り、ほぼ問題なかったと思います。全施設、訓練にいただき、有難うございました。一方で、都区部との共用という面では、無線の通じるところと、通じない施設があることが判明し、業者と調整する必要のあることが分かりました。今後、担当者に協力いただき業者と調整を進める予定です。

以上

令和2年9月 9日

一般社団法人 三多摩腎疾患治療医会
理事長 要 伸也
災害対策委員長 尾田 高志

不明などございましたら尾田 (takashio@tokyo-med.ac.jp) までご連絡下さい。